

刊夕日三拾月一拾

# 常磐每日新聞

定価一圓、一月五圓、三月十五圓、半年三十圓、一年六十圓、發行所 常磐毎日新聞社、印刷所 常磐毎日印刷株式會社

## 赤十字の

### 起原と沿革 (五)

平町長 青沼 鋒太郎

當時日本の政府は、まだ赤十字條約に加盟してゐなかつたから、博愛社も亦赤十字同盟に加入するとは出来なかつたのであり、そこで、赤十字條約に加盟致すやうに政府に建議いたしましたところ、もとより政府としても加盟する考で居られたのですから、明治十九年十一月十五日に赤十字條約加盟の勅令が公布されました。同二十年社名を日本赤十字社と改稱し、社則を改正すると共に萬國赤十字同盟に加入し、茲に今日の赤十字社の基礎を形作るに至つたのであります。

明治二十年は日本赤十字社にとつては、まことに意義ある年でありまして、各種の事業は多くこの年以後に畫策されたものでありまして、皇族を總裁に推戴し、理事員中より互選された正

## ノート

大根や蕪に鬆のあつたのは肥料の不足したもので養分が充實してゐないので味がわるい叩くと空洞の音がする

義ある年でありまして、各種の事業は多くこの年以後に畫策されたものでありまして、皇族を總裁に推戴し、理事員中より互選された正

## 明日の立

【朝】味噌汁—ねぎ 小付 生玉子

【書】馬鈴薯煮付 大根おろし お浸し ほうれん草

副社長の勅許、常議員三十名より理事員十名の選出、その他社業擴張上極めて重要な地方支部規則の制定を見たのも、實にこの年でありました。そして、その翌年社員を表章を設け、有功章及び特別社員章を制定して公許を受けたのであります。

その後明治二十七年、八年戦役、同三十三年の北清事變等の救護事業により、官憲との關係は愈々密接の度を加へ、勅令を以て赤十字社の資格を認め官憲との關係を定めるために、日本赤十字社條例といふものが、三十四年勅令第二百三十三號を以て發布されたのであります。即ちこれによつて

國家は日本赤十字社を陸海軍の衛生勤務補助の機關とし、日本赤十字社はこれによつて、その存在を益々基礎づけられたのであります

そして、社長及び副社長の任免は勅令によることとなり、戦時の救護員に關しては陸軍から特殊の待遇を受けることとなつたのであります。又日本赤十字社が社団法人の定款により主務官廳の認可を得ましたのも、この年でありました。

その他の沿革といつたしましては、明治十九年、平時に於ける救護員養成の目的を以て、數年來の懸案でありました本社病院の創設が實現されたのであります。現在までに本社病院並に各支部病院に於いて養成いたしました救護員は實に一萬二千四百七十五名に達してゐるのであります。

それから明治二十年には有栖川宮熾仁親王妃董子殿下の御主治に據りまして、篤志看護婦人會が設立されたのであります。その翌年、即ち明治二十一年七月、災害救護の嚆矢とも云ふべき、磐梯山爆發に因る傷害者救護を實施し、二十三年には、紀伊沖で難破した土耳其古軍艦の救護に當り、二十四年岐阜愛知の大震災、二十九年の三陸海嘯等に際しても、それら救護の實績を収めて來たのであります。

## 解雇廣告

白土泰千代

右之者弊店修繕工として雇入中不都合の儀あり顧客様に御迷惑をお掛け申譯無之候に付直に解雇致し候就而此後共何卒倍舊の御愛顧を相仰きたく乍略此段御詫旁々紙上を以て御願申上候 敬白

平町 驛前

秋山時計店 秋山季男

## 是非!

御融通には御利用下さい 萬事便利な御相談に應じます

三井質店 平四・電六〇六番

## 耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)

山内醫院 醫學士 山内亨吉

病院完備 自炊便有

石炭 コークス 炭 玉炭

平町 驛前

阿部石炭商店 電話三七番

## 通學用金釦外套賣出し

|           |           |
|-----------|-----------|
| 中黒最上      | 一年……八圓五十錢 |
| 二年……九圓    |           |
| 三年……九圓五十錢 |           |
| 四年……九圓五十錢 |           |
| 五年……九圓五十錢 |           |
| 生等外       | 一年……四圓四十錢 |
| 二年……四圓七十錢 |           |
| 三年……五圓    |           |
| 四年……五圓五十錢 |           |
| 五年……五圓五十錢 |           |
| 小學生 黒ラシヤ  | 一年……四圓四十錢 |
| 二年……四圓七十錢 |           |
| 三年……五圓    |           |
| 四年……五圓五十錢 |           |
| 五年……五圓五十錢 |           |

正 店服洋堂札正 (正) 番六三四電

## 透明障子紙

意匠登録 第六三四七八號  
 ▼本品は室内用、室外用の二種あり  
 ▼室内用は張方從來の通り生熟糊にてよろし  
 ▼室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし  
 ▼本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具備す  
 ▼雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外用は平氣なり  
 ▼現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル) 室内用 六十錢 室外用 八十錢  
 ◎定一價 室外用ノリ 一罐 二十錢  
 平町四丁目

夕伊勢屋 阿部商店 電話四五番

賣弘め中粗景手拭一本呈上

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院 平町南町一六(電話七一〇番)

# 軍國繪巻に

## 一脈の暗影

### 青訓演習参加を

#### 三坂村から拒絶

理由は凶作の爲め出費難

別項―郡下青年訓練所聯合

演習舉行の通知を發したところ三坂村では今次の凶作の打撃を受けて目下

全村窮迫のどん底に喘いでゐる折柄、旅費宿泊料に相當な出費を要する四倉町方面への演習には参加出来ぬと拒絶して來た費用難のために参加を拒絶した

ことは郡下で

最初の事だけに聯合

會では今次の凶作の激甚さには今更驚ろいてゐるが三坂村の拒絶から山間部地方が同様の行爲に出づるのではないかと憂慮され例年郡下を擧げて軍國繪巻を展開する青訓演習に一抹の暗影を投げかけてゐる

# 青訓演習の

## 南北兩軍編成

既報郡下四十九ヶ青年訓練所生約千五百名を動員し來る十八、九兩日四倉町方面に行はれる聯合演習は南軍の隊長を四家歩兵少佐北軍の隊長を中野歩兵中佐と決定宿舎は北軍第一中隊四倉同第二中隊大浦、南軍は第一中隊草野、同第二中隊神谷の各小學校であるといふに

### 無事故で

#### 平驛表彰

平驛は三月以來十月迄の八ヶ月間毎月事故防止委員會を開いて事故の防止に努めた結果其間一件も事故が起らなかつたので近く東京鐵道局より表彰されるが更に去る六月一日より昨拾二日

△南軍(第一中隊)草野 平窪 田人 入遠野 上 遠野 山田 磐崎 内郷 平(第二中隊)神谷 箕輪 永井 合戸 渡戸 小名 玉川 川前 差鹽 澤渡 三坂 渡邊 小川

迄の百八拾日間驛全般に亘つて好成绩を擧げたのも併せて表彰されると

### 入營兵の

#### 豫備教育

十七日から

平町及び郷軍分會では十七日午前八時から第一小學校講堂に今年度入營兵を集め豫備教育並に現役兵證書交

## 市制を敷く

### 前提的大綱

#### 町會を開き協議

平町では来る二十日頃町會を招集町是調査市制施行案大綱につき詳細な協議を練る由

#### 錦校訓導出平

錦小學校訓導十餘名は明十四日午前八時十分着で來平小學校を視察すると

## 高麗橋を中心として

### 眞木翁の懷古事談

今尚ほ印象に残る 橋門附近の大老木

六間間櫓の樹形の土手上は、杉と椎の大木が蒼蔚として、北から南へ東から西へと立並んで、高麗門上の角には五百枝の雄偉な大杉(頃日新道開鑿の爲此根株が掘取られた)之より南へ、赤樫の大木などがついで

附式を行ふ

### 平倉庫入札米

業倉庫は昨十二日平町の白米二百七十三俵及び植田町の三百七十俵、計六百四十三俵を入札に附した結果平町は一俵十圓八十一錢で馬目玉彌氏に植田は十圓七十五錢で入山炭礦に夫々落札前回に比し五十錢の安値

## 青雲の志に

### 精進の磐中生

上級進學の模き試験

磐中四、五年生は上級學校入學試験期も間近になつたので目下受験勉強に餘念ないが今年度受験者数は左の如く來る十九日第一回の模擬試験を行ふ由

- 陸軍士官學校二三 海軍兵學校一四 海軍物理學
- 校一 高等學校五八 學大豫科一六 各種實業專
- 問學校八二 大學専門部六 外國語學校一 美術
- 學校二 体操學校三 音樂學校一 青山學院一
- 醫專一六 藥專六 其他専門學校六 高師一五 師範二部三七

#### 大浦俵米品評

大浦村農會では來月初旬同村農業倉庫で俵米品評會を催す

## 氏神社頭に

### 入營兵奉告

二十日午前九時から縣社子鉞倉神社前で入營軍人奉告祭を執行、同日午前十時半から聚樂館で一般歡送會を催す由

#### 第三籠球大勝

既報 平第三小學校籠球選手は過般の第三區競技會で優勝し來月の郡下選手權大會を目指し猛練習中であるが昨日

隱に残つて居らぬ。

時は廢藩置縣の世となり樹齡三百餘年の、此杉、樺の大木と、椎の良材とは次ぎから次へむざむざと、早急に切倒されてしまつたので、私の生長と共に、永い期間に鮮な印象を與へたものは、三四流程度の、それも樹齡二百年以上の樺や材木として價値の低い松や椎などのみか此處に一本、彼處に二本、三本と残された六間門の西南角と東南角の松は、附近一帯が刃拂はれたので一際目立つものとなり、長い年月、昂々然として、大空高く其雄姿を誇つて一里、二里の遠方から見えたものだが、喬木風多く太風に根返へりし、中折して辛くも城の威容を残して居た、今は此等も遂になくなつてしまつた、兎に角六間門櫓を中心として此邊は樹木が多かつたが、築き上げた土手と共に、前へ述べた如く、同じ高さの西部臺地から見透しを、遮きつた爲のものと思はれる。

中作築港視察 内務

省事務官一行は今十三日來平、小林平土木監督所長の案内で江名中ノ作築港を視察した

#### 唱歌の研究會

石城第一區教員會の女教員廿餘名は明十四日午後一時より平第三小學校に於いて同校の唱歌授業を視察の上研究會を開くと

# 瞬時にして五百坪

## 轟然と崩壊す

### 入遠野縣道の地這り

## 昨夜の椿事

十二日午後八時頃入遠野村大平地内縣道三株勿來線に突然轟然たる大音響起ると見るや約五百餘坪に亘る大地這りが起り交通全く杜絶し鐘太鼓を打ち鳴らし同村消防組、青年團を非常召集目下發掘作業に従事してゐるが復舊までには早くとも今後一週間を要する見込み同路線は勿來より入遠野村方面に向ふ重要路に當つてゐるが過般再度の豪雨の爲に地盤が緩んでゐたためと見られてゐる

## 旅先で

### 子供を山へ

#### 捨てた潜り桂庵

此程平署でドロを吐く

既報—赤井村中島勇といふ十二才の少年を連れ出し靜岡縣の製糸工場に買込まんとし年少のため拒絶されその少年を山野に捨て、逃走した周旋屋の行方に就ては其後平署で極力

### 捜査中

同署に捕はれた信夫郡佐倉村生れ磐崎村藤原字一本木元坑夫阿部勇吉(五)が前記犯人の旨を自白したが其の外去る九月中旬に湯本町字三函阿部徳榮内妻キミの長男佐藤徳美(一)同町向田古澤ステ姪郡司キ

は来る十五日午後七時より秋期特別講演會を開くが講師は日本基督教東北中會議

## 學校歸りの

### 少女勿飛さる

#### 左股に重傷

永戸村大字渡戸トラツク業草野喜七方運轉手澤渡村大字中寺平山勝雄(三)は昨十二日午後二時頃トラツクを運轉して平町からの歸途好間村北好間鬼ヶ作地内縣道を疾走中前方を横切つた學校歸りの同村字堂田佐重四女紺野ヤイ(一)を刎飛ばし左股に全治三週間の裂傷を負せた

## 約手の

### 裏書名義を

#### 亂用し發覺

湯本驛前運送業長岡儀盛(五)は昭和六年六月十四日神戸市榮町山田米穀店から白米百八十石買入に際し二千二百七十二圓の約束手形を發行したが裏書人に同町

### 明日のラジオ

十四日

今夜は北東の風  
明日は北東の風  
曇模様

### 今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 名作物語イワンの馬鹿
- 三東京放送童話研究會
- 後六、二五 英語講座(五)
- の(一) フランクホルレル
- 後七、三〇 狂言宗論山本 普外

### 明日の部

前七、〇一 實用文(選)

(二)の(二)金子秀二郎

前七、三〇 聖典講義「碧

巖録」(三日)種讓山

前九、四〇 陸軍特別大演

習實況(第四日)演習現地

より中繼

前一〇、三〇 婦人文學講

座「新古今集講義」(四)石

井直三郎

後〇、〇五 詩吟

後二、〇〇 講演「日本と

ニカラガ共和国との關係

共和国名譽一領事藤村和

## 磐女の先生が

### 總出の披露試合

大優勝旗獲得の喜び！

### 生徒等は五色の聲

本社主催の中等學校教員野球大會に見事大優勝旗を獲得した磐城高女の喜びは一方ならず文字通りの「狂喜亂舞」！けふは優勝旗の披露とあつて天晴れ女の先生迄が出馬し、磐女教員オールキャストを紅白の二組に分つて野球試合、昨日で試験の終つた生徒達は此處どとばかり、一、四年が紅組、二、三年が白組、夫々五色の聲を振りしげつて応援する、審判は大會其儘水竹第一校訓導に頼み、サイレンを鳴らして先づ丘の上飛ぶ鳥を驚かしプレイボール！ 兩軍の選手左の如く名投手大内選手は捕手に納り、時々優勝旗をマスコから覗ひてニヤリ／＼

## 朗明も迄飽

### 時計騙取

#### 修繕すると

#### 欺いて廻る

住所不定茨城縣那珂郡木崎村酒出生れ無職前科九犯郡司久次郎(五)は去月下旬から湯本町目白屋旅館こと鈴木榮太郎方に宿泊する十一日夜宿料十八圓餘を踏倒して逃走せんとするところを平署員に逮捕されたが取調べの結果九月末より郡下に流れ込み湯本、内郷、平を中心の時計の修繕すると欺き二十四個の時計を騙取したと自白した

## 不正ファンが

### 二百名に近い

#### ラジオの盗聴者を

#### 發見次第告發する

### 平局の防止策

最近ラジオの普及發達と共に平町にはアンテナ線を巧みに隠して張り料金を拂はず盗聴する不正ファンが増加して來たので平局では郵便集配人、保險勧誘員等を督勵盗聴防止に努めて居るが未だに二百名に近い不正聴取者があるので近く平署とも連絡を取つて發見次第告發し防止の徹底を圖ると

漆畑辯護士計 去る五月栃木縣左野町に隠棲した辯護士漆畑元吉氏は腎臓病を患ひ東京市本郷區根津宮永町高野得助氏方で療養中拾一日夜逝去享年七拾一

磐中五年演習 磐中三年生二百餘名は明日平窪村方面に於て遠藤、庄司兩教官指導の下に野外演習を行ふ

# 浮名新首領

田邊南龍(作)  
山本英春(書)

正面から打込む奴も友達を受けに出されて居るから突込むことは出来ず、ためらつて居る内喜三郎足を揚げて翠丸をハッタと蹴る

「アツ」といふと少し気が遠くなつた位、のめつて後に倒れた。

「敵はねえ〜ソレ逃げる」といふとスタ〜と逃げて行く

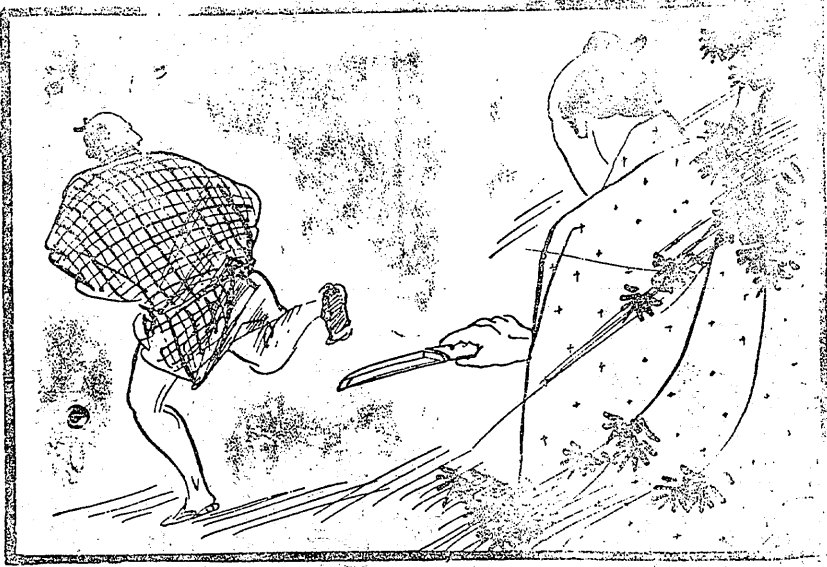
一人帯際と小手を握られた奴は逃げる事が出来ません

「何うぞ御勤辨をなすつてお呉んなさい、命ばかりはお助け下さいまし」

「オ、汝等ア四人の命を取るは蛆虫を殺すより易い話だが助けてやる、以來は氣を注げる、決して不量見を出すなヨ、サア行け〜出直せ、間拔奴……」

「オ、汝等ア四人の命を取るは蛆虫を殺すより易い話だが助けてやる、以來は氣を注げる、決して不量見を出すなヨ、サア行け〜出直せ、間拔奴……」

「オ、汝等ア四人の命を取るは蛆虫を殺すより易い話だが助けてやる、以來は氣を注げる、決して不量見を出すなヨ、サア行け〜出直せ、間拔奴……」



「オヤ親分方、よく来てお呉んなさいました、サア何うかお上んなすつてお呉んなさいまし」

「イヤ有難ふ」  
「丁度奥で今切付いて居りやすから何うぞ彼方へお出で下さいまし」  
「マア〜相變らずお忙しくつて結構でございます」  
「有難う存じます」  
「花川戸の元締は博奕が嫌いで家ちやア決して切付かねえ、部屋ちやアお屋敷からお給金を頂いた時に勘定

つだらう、サア持つて行け〜と投げやうに  
「オヤ親分方、よく来てお呉んなさいました、サア何うかお上んなすつてお呉んなさいまし」

「オヤ親分方、よく来てお呉んなさいました、サア何うかお上んなすつてお呉んなさいまし」

夜間診療

## 胃腸性病性

内科 皮膚科

花柳病科 性病科

胃腸病科 皮膚科

### 専門

## 村松 院醫科性病胃腸

(番七〇一電町南町平)

「皆さん花川戸の親分方がお出でなすつた」  
「コリヤ親分方入らつしやいまし」  
「皆様御機嫌宜しう、大にお邪魔アいたしやした」  
「三人は挨拶をして這入つて来て」  
「御免なさいまし」  
とドツカリ座り込んで是从から金子を出して始めやうと思ふと中盆をして居た男が  
「ア、一堪らねえ、コー源次、俺ア腹が痛くつて仕様がねえ、キリ〜差込んで来やアがつて……皆さん失禮だが御免下さいまし」  
とズイと立上つて其座敷を出て了つた、跡へ源次てえ若い者が座つて中盆を勤めお客の中には米屋の旦那も居なれば立派な堅い處の旦那も入らつしやる、昔堅氣の商人の旦那でも好きな方は斯ういふ處へ這入り込んだものでございます。

### 看護婦急派の求めに應じます

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

### 流行歌

國境の町  
母を尋ねて  
草津くずし  
故國よさらば  
東京かつぱれ  
曠野に祈る  
\*各社レコード

### 一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める

川崎 回文庫  
電六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

### 高橋時計店

平橋路小

## 玉屋洋品店

平町通電話一五六番

## 吉田眼科病院

平瀬屋町電話六八番  
醫學士 吉田久雄

## 秋!!! 酣の秋!!!

ドライブ……訪問……には是非! 素晴らしく心地のよいセリザワのニューカーを!

御用命下さい「電395番」

平・三 芹澤タクシー

### 男女事務員募集

希望者は至急來談あれ……年齢十六、七歳より二十四、五歳迄給料面談

### 有給外務員數名募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名  
一、固定給の外旅費支給す  
御希望の方は履歴書持參來談を乞ふ  
(明治十四年創立 保險の開祖)

明治生命保險株式會社

事務所 平野 康  
平野 康  
平野 康